

砺波総合病院 から

薬剤科 科長
高畑 英信

市立砺波総合病院
☎32-3320

病院のホームページもご覧ください。

医療機関への受診には「お薬手帳」または、「現在使用しているお薬の説明書」をお持ちください

「お薬手帳」について

患者さんが使用している薬の名前・量・飲み方や薬による副作用などを記録した手帳です。同じ薬でも人によって量や飲み方が違います。

現在に至るまでの薬の種類や量を知ることができます。また、医療機関の薬だけでなく、市販薬や健康食

品・サプリメントのほか、体調面で気になることも記入できます。

「お薬手帳」を持つメリット

薬の内容を医師、薬剤師が把握することで、患者さんにとって以下のメリットがあり、安全な薬物療法につなげることができます。

- ① 似た効果がある薬を重ねて使うことを防ぎます。
- ② 過去に副作用があった薬の使用を避けることができます。
- ③ 複数の医療機関からそれぞれ処方を受けても、薬の相性を確認することで、飲み合わせによる副作用を防ぎます。
- ④ 旅行先や災害発生時などいつでもの薬がないときも、今まで飲んでいた薬と同様の薬を求めようとするときに間違いを防ぎます。

一冊にまとめて持ちましょう

医療機関に受診するときだけでなく、常に携帯することをお勧めします。また家族の方に、保管先を伝えておくことも大切です。

薬の情報を一冊にするためにも、「お薬手帳」は一冊にまとめてみましょう。

なお、「お薬手帳」を所持していない方は、「現在使用している薬の説明書」をお持ちください。

入院前の薬の履歴を薬剤師が確認しています。

当院では、薬剤師が入院中の安全な薬物療法を実施するために、「患者総合支援センター おあしす」や「病棟」で、患者さんが今まで利用していた薬をチェックします。

「お薬手帳」とともに、「現在使用している薬」または「現在使用している薬の説明書」は大切な薬の情報源となります。

入院期間が決まっている場合は、予定入院日数分の薬を持参してください。

「お薬手帳」は一人ひとりの「今」に、最もふさわしい薬を処方するための重要な手帳です。



安心ポケットの情報更新を

万が一、ケガ等で救急車を利用する事態になったのために、日頃から、家族の皆さんの医療情報を「安心ポケット」に入れ、冷蔵庫に貼っておいてください。また、お薬や緊急連絡先などの情報は必要に応じて随時更新願います。

新たな用紙は 社会福祉課、社会福祉協議会ほか各地区自治振興会へ

社会福祉課 ☎内線126

●ほっとなみ 安心ポケット ● 救急医療情報用紙

作成日 平成 年 月 日
変更日

【下記内容に変更があったときは、必ず乳幼児・高齢者・障がい者・（0歳～6歳）（65歳以上）（乳幼児・高齢者・障がい者）※上記のいずれか該当する項目を○で囲んで記入してください】

●裏面にもご記入ください

本人情報		性別	血液型	生年月日
フリガナ		男・女	型 Rh (+/-)	明治・大正・昭和・平成 年 月 日
氏名				
住所	砺波市	電話	(自宅0763-)	
保険証番号			(携帯 -)	

医療情報

かかりつけ医療機関	[1]	[2]	[3]
	(電話 -)	(電話 -)	(電話 -)
科目・担当医			
治療中の病気			
服薬内容 ※書ききれない場合は裏面に記入してください			
特記事項 (アレルギー等)			

たとえば、かかりつけ医が変わっていませんか

最新のかかりつけ医を記入しましょう